

桂¹林^{りん}莊^{さう}雜^ざ詠^ぎ示^し諸^{しよ}生^{せい}

広^{ひろ}瀬^せ淡^{たん}窓^{さう}

休^{やす}道^{みち}他^た郷^{きやう}多^{おほ}苦^く辛^{しん}
同^{どう}袍^{ほう}有^あ友^{ゆう}自^{おのづか}相^あ親^{しん}
柴^{さい}扉^ひ曉^{あけ}出^い霜^{しも}如^{ごと}雪^{しゆ}
君^{きみ}汲^く川^か流^{なが}我^{われ}拾^{ひろ}薪^{しん}

(遠^{えん}思^し樓^{ろう}詩^し鈔^{さう})

広瀬淡窓 一七八二(天明二)年〜一八五六(安政三)年。名は建^{けん}。淡窓は号。豊後^{ぶんご}日田(現在の大分県日田市)の人。江戸時代末期の儒学者・漢詩人。平明・自然な詩風で、「西海の詩聖」と称された。

1 桂林莊 広瀬淡窓が開いた私塾。豊後日田にあった。

2 同袍 一枚の綿入れの着物を共有するほど親しい仲。

3 柴扉 木の小枝を編んで作った戸。粗末な戸のたとえ。